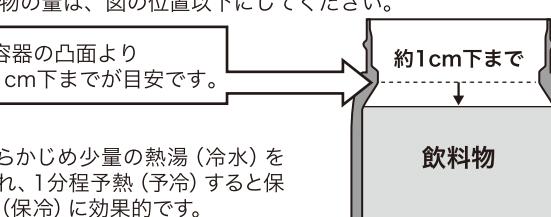


■STM-53 ステンレス製マグボトル ～ 取扱説明書 ～

更新日:23.11.20

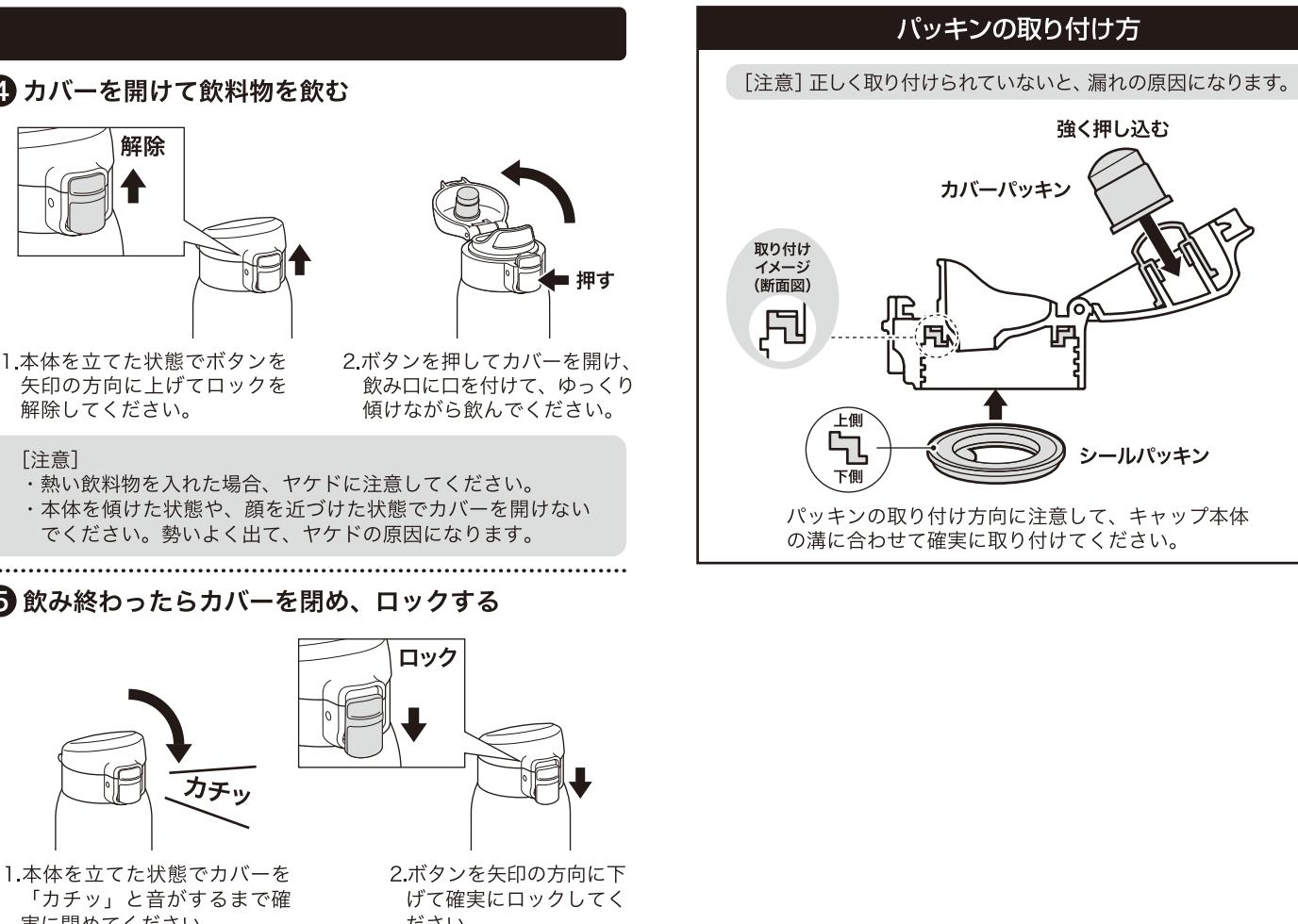
ご使用方法

ご使用前に本体・キャップユニットを十分に洗ってください。

- ① キャップユニットを外す**
キャップユニットを矢印の方向にまわして外してください。
- ② 飲料物を入れる**
飲料物の量は、図の位置以下にしてください。
内容器の凸面より
約1cm下までが目安です。
※あらかじめ少量の熱湯（冷水）を入れ、1分程予熱（予冷）すると保温（保冷）に効果的です。
- ③ キャップユニットを閉める**

1.本体を立てた状態でキャップユニットを矢印の方向にまわして確実に閉めてください。
2.ボタンを矢印の方向に下げて確実にロックしてください。

[注意]
 ・キャップユニットを確実に閉めてください。漏れの原因になります。
 ・各パッキンを取り付けてください。漏れの原因になります。



お手入れ方法

清潔に使用して頂くために、ご使用後は、その日のうちにお手入れをしてください。

- お手入れは、食器用中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジ又はブラシでよく洗い、水気を拭き取り十分に乾燥させてください。
- 汚れや臭いが気になる場合は、次に記載の方法を守り、漂白剤で30分を目安にお手入れしてください。
- 長期間使用しない時は、汚れを十分に落とし、よく乾燥させてください。高温多湿の場所を避けて保管してください。

本体

○丸洗いできます。

[注意]

- つけ置き洗いはしないでください。
隙間から水が侵入し、腐食や故障、保温・保冷不良の原因になります。
- 塩素系漂白剤を使用しないでください。
腐食や故障、保温・保冷不良の原因になります。

内容器

※内容器は下記の方法でお手入れができます。

【斑点状の赤いサビが付着している場合】
水に含まれる鉄分等が付着したものです。内容器にお湯を入れ、食酢を10%程度加えてキャップユニットを取り付けずに約1時間放置後、よく洗ってください。

【ザラザラしたものが付着している場合】
水に含まれるカルシウム等が付着したものです。内容器にお湯を入れ、クエン酸を10%程度加えてキャップユニットを取り付けずに約3時間放置後、よく洗ってください。

【汚れや臭いが気になる場合】
酸素系漂白剤を内容器に入れ、キャップユニットを取り付けずに約30分放置後、よく洗ってください。

キャップ本体

○丸洗いできます。

[注意]

- つけ置き洗いはしないでください。
隙間から水が侵入し、腐食や故障の原因になります。
- 塩素系・酸素系漂白剤を使用しないでください。
腐食や故障の原因になります。

パッキン

○丸洗いできます。

○つけ置き洗いができます。

○塩素系・酸素系漂白剤が使用できます。(30分を目安)

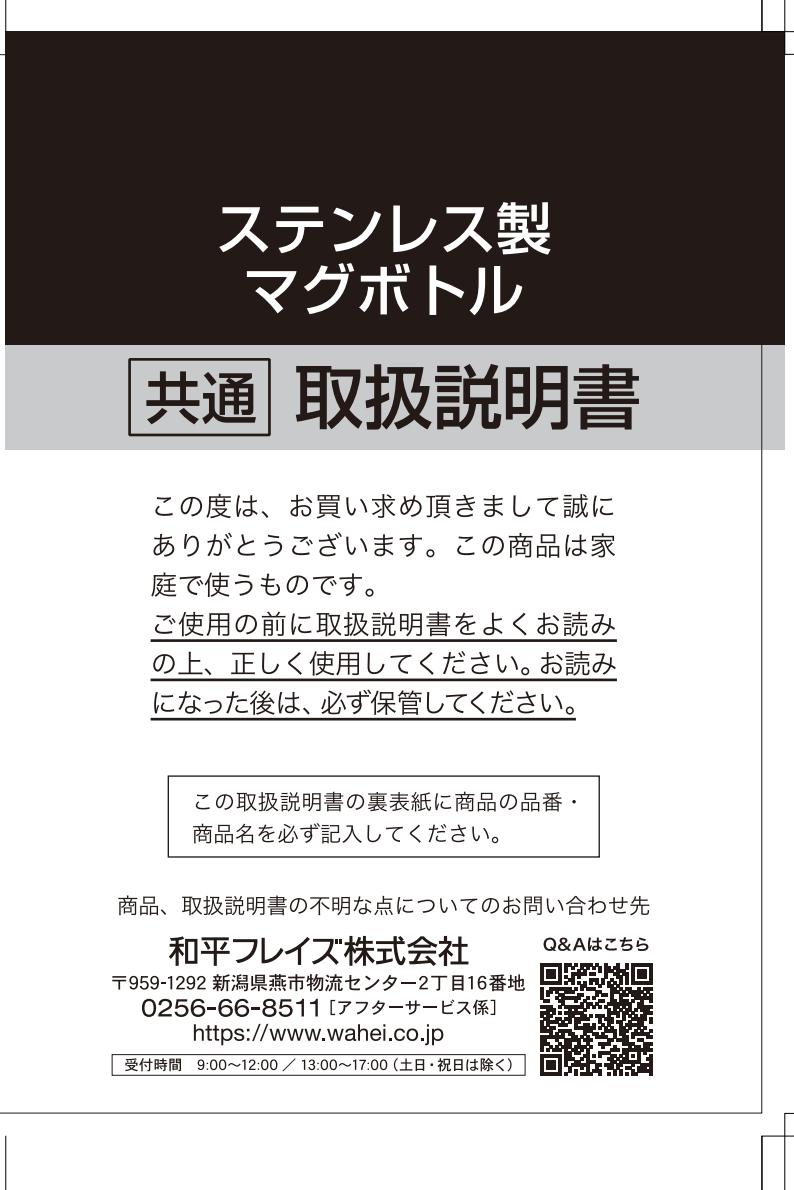
[注意] お手入れ後は、各パッキンを確実に取り付けてください。
漏れの原因になります。

●食器洗浄機や食器乾燥器等を使用したり、煮沸・熱湯消毒をしないでください。
変形による漏れや保温・保冷不良の原因になります。又、塗装や保護シートのはがれ、変色、腐食の原因になります。

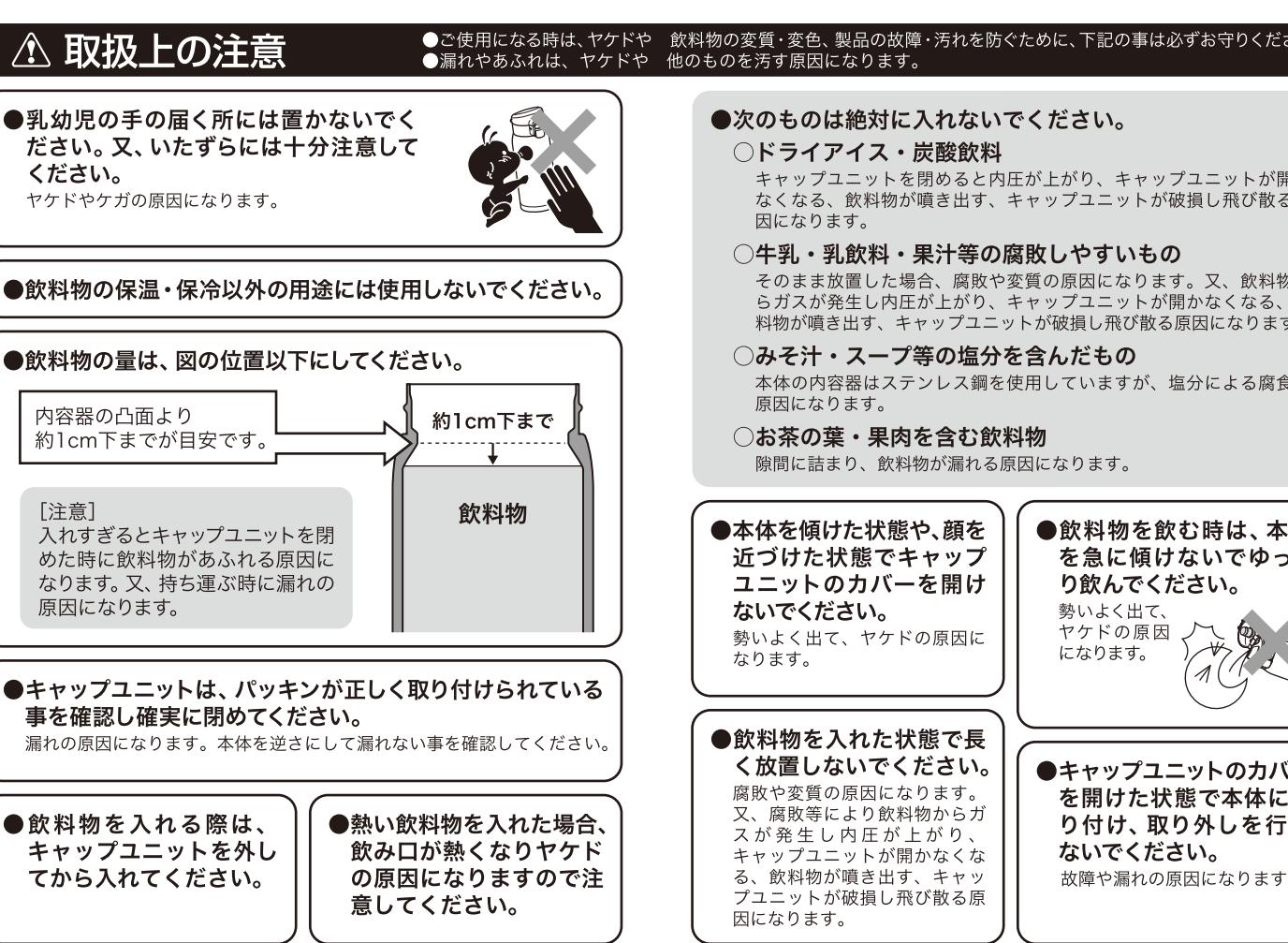
●シンナー類・クレンザー・金属タワシ・化学ぞうきん等は使用しないでください。
傷や塗装のはがれ、腐食の原因になります。

●スポーツ飲料を入れた場合、ご使用後すぐにお手入れをしてください。
外出時等で十分なお手入れができない場合でも、すぐに内容器を水でよくすいでください。カビの発生やスポーツ飲料に含まれる塩分により腐食の原因になります。

※外側がつや消し塗装仕上の製品は、ご使用に伴い擦れ跡が目立ったり、ふきん等で強く擦ると色落ちする場合がありますが、ご使用上問題はありません。



ご使用前に、各部品が揃っている事を確認してください。



- 飲料物を入れて持ち運ぶ時は・・・
 - カバーを確実に閉め、ボタンを下げて確実にロックしてください。
漏れの原因になります。
 - キャップユニットを上にして立てた状態で持ち運んでください。
漏れの原因になります。
- コンロやストーブ等、火気のそばには近付けないでください。
ヤケドや変形・変色の原因になります。
 
- 落とす・ぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
変形し、漏れや保温・保冷不良の原因になります。又、樹脂部分の欠け、割れ等、破損の原因になります。
 
- 電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び、ケガやレンジの故障の原因になります。
 
- 冷凍庫に入れないでください。
漏れや破損の原因になります。
- 熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色や風味が変わります。
- ケトル等から直接入れる場合、注ぎ口を口部にあてないでください。
本体が転倒して、ヤケドやケガの原因になります。
 
- 自動車や自転車の走行中には使用しないでください。
飲料物がこぼれ、ヤケドやものを汚す原因になります。又、運転時の注意が散漫になり、事故の原因になります。
 
- 水入りの冷たい飲料物を入れた時や湿度が高い時には、キャップユニットに水滴が付く事があります。
- コーヒーなど色の濃い飲料物を入れるとパッキンは着色しますが、品質上問題はありません。
- 保護シートは、はがさないでください。

